

学士課程学生の研究論文誌に対する大学図書館の支援：北米の事例から

新見 慎子（東京大学附属図書館）

niimi-makiko@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

1. 背景と目的

学生の研究成果を掲載することに特化した雑誌は、大学院生の研究成果を掲載するもの、学士課程学生研究成果を掲載するものに大別される¹⁾。そのうち、学士課程学生研究成果の掲載に特化したものは、英語圏では「undergraduate research journal」等と言われている。なお、本研究では「undergraduate research journal」の日本語訳を便宜的に「学士課程学生研究論文誌」とする。

学士課程学生研究論文誌は、北米を中心に国際的に注目されている²⁾学士課程学生による研究（undergraduate research）の動向とも関連している。学士課程学生による研究とは、学生が様々な形態によって取り組む研究や探求のための活動とそれを通じた学習を示す概念であると考えられる³⁾。

学士課程学生研究論文誌は、学士課程学生による研究を促進する手段の1つとして位置づけられている⁴⁾。たとえば、全米組織である学士課程学生研究協議会（Council on Undergraduate Research: CUR）⁵⁾は、2012年に *How to Start an Undergraduate Research Journal* ⁶⁾ という図書を刊行しており、学士課程学生研究論文誌の理念、創刊・運営する際のノウハウ、グッドプラクティス事例などを紹介している。さらに、CURの会員向けページには学士課程学生研究論文誌のリストが掲載されている⁷⁾。

上記図書の執筆者の1人である Jenkins は、学士課程学生研究論文誌が持つ価値として以下の4点を例示している。①学生の研究コミュニティへの入門・参加を支援できる、②学生にとって公的な場において執筆することに価値がある、③学生にとって知識を生み出す者として見なされることに利点がある、④学生や学科、大学にとって学生の研究成果を公開できることに利点がある⁸⁾。

学士課程学生研究論文誌に対しては、大学図書館による支援・関与も見られる。北米

では大学図書館が学術出版に関わる事例が見られるが⁹⁾¹⁰⁾、それとも関連して学士課程学生研究論文誌に対する支援が行われている。

日本においても、学生の研究成果を掲載する刊行物についてその利点が指摘されている¹¹⁾。しかし日本では、そのような刊行物について調査した研究や、それらに対する大学図書館による支援に着目した研究は少ない。

そこで本研究では、北米の大学図書館による学士課程学生研究論文誌に対する支援を調査し、その特徴を整理することを目的とする。調査方法は文献調査とし、北米の事例を取り扱った文献を対象とした。まず、1) 学士課程学生研究論文誌を取り上げた文献から、学士課程学生研究論文誌の概要を整理した。次に、2) 大学図書館における事例を報告した文献から、大学図書館で行われている学士課程学生研究論文誌に対する支援の特徴を整理した。

2. 学士課程学生研究論文誌の概要

2.1 全般的な特徴

本節では学士課程学生研究論文誌に関する文献のうち、全般的な特徴を示す調査や分析が行われているものを概観する。

Kanel¹²⁾は、当時のCURのウェブサイトに掲載されていた40誌以上の学士課程学生研究論文誌をもとにその特徴をまとめており、①大学が刊行する様々な学問分野を対象とする雑誌、②大学や学会が刊行する特定の学問分野を対象とする雑誌、③それ以外の雑誌の3種類に大別している。雑誌の運営に関しては、学生が主体で運営されているもの、教員が主体で運営されているものがあり、学生が主体の雑誌でも教員がアドバイザーとして関わっていることが多いとしている。そして、多くの雑誌では通常の学術雑誌と似たプロセスで編集されており、査読や論文採択等が行われていると述べている。

Reno¹³⁾は、オンライン上で公開されていた42誌を対象として実態調査を行い、北米の学

士課程学生の研究論文誌の特徴を分析している。対象とする学問分野に関する分析では、特定主題を対象とする雑誌が、全ての分野を対象とする雑誌よりも多く、さらに自然科学分野を対象とするものが多いとしている。投稿資格に関しては、どの大学に所属している学生でも投稿可能な雑誌が、特定の大学に所属している学生のみ投稿可能な雑誌よりも多いとしている。雑誌の運営に関しては、編集長が学生である雑誌の方が、編集長が教員である雑誌よりも多いとしている。編集体制については、学生と教員アドバイザーの組み合わせが最も多く、次に学生のみ雑誌、教員のみ雑誌等が続くとしている。

Murray⁴⁾は、CURの図書⁶⁾の巻末リストに掲載されている学士課程学生の研究論文誌のうち、米国の大学が刊行している雑誌(110誌)の概要をまとめている。学問分野に関しては、65%の雑誌がSTEM分野の論文を掲載しており、社会科学は59%、人文科学は57%、職業教育分野は38%の雑誌で掲載対象になっていると述べている。刊行形態については、オンライン版のみが65%、冊子版のみが9%、両方とも刊行が26%としている。大学のタイプ別では、最も多いのは研究大学(66%)であり、修士号授与大学(19%)、学士号授与大学(13%)が続くとしている。

Tatalovic¹⁴⁾は、自然科学分野を対象とする分析を行っている。学士課程学生の研究論文誌(35誌、うち24誌が米国で刊行)に関しては、生命科学に特化した雑誌(11誌)が最も多く、次に自然科学全般(9誌)が多いとしている。各雑誌がウェブサイトに掲げている使命や目的に関する分析では、多くの雑誌において、①学生に査読プロセスを経験させる、②学生に論文執筆・出版を含む科学研究の遂行方法について教える、③学生による研究の質を示す、④学生の努力を認める、⑤学生に将来の研究や職業に資するような機会を与える、⑥学生に標準的な研究の考え方を知ってもらう等が含まれているとしている。

Marianiら¹⁵⁾は、政治学分野の学士課程学生の研究論文誌(13誌)を調査している。投稿資格に関しては、特定大学の学生のみ投稿を限定している雑誌よりも、どの大学の学

生でも投稿可能な雑誌が多いが、ほとんどの場合、雑誌を刊行する大学に所属する学生からの投稿であるとしている。編集責任については、学生編集者のみが担う場合、第一に学生編集者が担うが教員が手助けする場合等があるとしている。資金調達については、大学や学科から援助を受けている場合、学生団体から援助を受けている場合等があるとしている。そして、学士課程学生の研究論文誌は学生エンゲージメントを促進するものであり、編集プロセスを経験することは学生編集者等にとって価値ある学びであると述べている。

2.2 まとめ

前節で取り上げた文献の内容を整理すると、(1)学士課程学生の研究論文誌は、特定の分野に特化した雑誌と様々な分野を対象とする雑誌の両方が存在すること、(2)学問分野に関しては自然科学分野を対象とするものが比較的多い傾向にあるが、それ以外の分野を対象とするものも存在すること、(3)学生が編集者等として運営に関与している雑誌が多く存在するが、教員の役割も重要であること、(4)刊行形態はオンラインが主であること等が言える。

3. 大学図書館による支援

3.1 概要

大学図書館において学士課程学生の研究論文誌に対する支援がどの程度行われているのかについては、数値的なデータを示した調査等が少ない。しかしながら、参考になるものとしてLibrary Publishing Coalitionによる*Library Publishing Directory*¹⁶⁾がある。その2019年版によると、掲載対象135館のうち90館において大学内の学生主体で運営されている雑誌(campus-based student-driven journals)を刊行しており、90館のうち76館が米国の図書館、11館がカナダの図書館であった。また、著者¹⁷⁾が2014~2015年に実施した北米の研究大学図書館を対象とする質問紙調査では、回答館(30館)のうち9館で学士課程学生の研究論文誌への関与が行われているという結果であった。

3.2 事例から見る特徴

本節では、事例報告文献から大学図書館による学士課程学生の研究論文誌に対する支援の特徴を見る。その際に、①雑誌の出版・運

営に対する支援，②図書館による雑誌出版／出版への関与，の2つに各館の事例を大別している。

① 雑誌の出版・運営に対する支援

ウェスタン・オンタリオ大学では，以前から学生主体で運営されている雑誌が学科等から刊行されていたが，2008年に図書館が機関リポジトリ・雑誌出版プラットフォームのシステムを導入した後に，そのプラットフォームを利用してOA誌として刊行される雑誌が出てきた。事例報告文献の著者であるHoは，その経験にもとづき，図書館の役割の1つとして，著作権やOA，クリエイティブ・コモンズ等，雑誌運営の際に必要な情報の提供をあげている¹⁸⁾。

オーガスタ大学では，学生グループが雑誌創刊についてCenter for Undergraduate Researchに相談した際に，担当者が図書館に創刊のためのノウハウを問い合わせたことから，図書館による支援が行われるようになった。編集委員会に図書館員も参加し，創刊準備のなかで著作権やOA，クリエイティブ・コモンズ等の検討も行われた。雑誌の公開には，図書館の機関リポジトリが利用されている¹⁹⁾。

マギル大学には学内の学生団体が刊行する雑誌がいくつもあり，それらを支援するための図書館のプロジェクトがある。そこでは，学生編集者を対象に雑誌出版のベストプラクティスや雑誌出版プラットフォーム等を紹介するワークショップの開催，バックナンバーの電子化支援等が行われている²⁰⁾。

ニュー・カレッジ・オブ・フロリダでは，学術コミュニケーションを教えること，学士課程学生の研究論文誌の編集を担当する学生に単位を授与することを目的とする科目が開設されており，受講者は教員と図書館員による授業に参加することが求められている。図書館員は出版倫理や引用等に関するオンライン・チュートリアルも作成し，コース・マネージメント・システムで提供している²¹⁾。

トロント大学図書館では，Student Journal Forumという学生編集者等を対象とするイベントを開催している。このイベントでは，雑誌運営のベストプラクティスや雑誌編集プロセス，著作権やOA，図書館が提供する雑誌出

版プラットフォーム等が取り上げられている。また，図書館のウェブサイトでもそれらに関する情報がまとまった形で提供されている²²⁾。

② 図書館による雑誌出版／出版への関与

コロラド大学コロラド・スプリングス校図書館では，事前に学内の教員に対して需要調査を行ったうえで，2008年に学士課程学生の研究論文誌を創刊した。雑誌出版プラットフォームを利用したOA誌であり，ウェブサービス担当の図書館員が雑誌の運営を担っている。論文を投稿する学生には指導教員の明記を求めており，図書館からその教員に対して誌面に名前が記載されることの承諾を得ている²³⁾。

パデュー大学では，教員グループが学士課程学生の研究論文誌の創刊を発案した際に，図書館へ協力要請があった。大学出版部門が図書館の一部門になったこともあり，図書館もその雑誌の創刊準備に関わるようになり，資金獲得のための副学長室への提案書は教員グループと図書館から提出された。2011年の創刊後も，図書館は教員や大学出版部門とともに雑誌運営を支援しており，学生編集者や執筆者向けのワークショップ等が開催されている²⁴⁾。

3.3 まとめ

前節で取り上げた事例報告文献の内容を整理すると，(1)大学図書館では，雑誌出版プラットフォームや機関リポジトリ等，学士課程学生の研究論文誌を出版するための手段の提供が行われていること，(2)学生編集者を主な対象として，雑誌を運営する際に必要となる情報（著作権やOA，編集プロセスなど）の提供も行われていること，(3)大学図書館が，学士課程学生の研究論文誌の創刊に関与している場合があること，(4)図書館員が編集委員会に参加している場合があること等が言える。

4. おわりに

本研究では，学士課程学生の研究論文誌に対して大学図書館が行っている支援の特徴を見た。大学図書館は，学士課程学生の研究論文誌の特徴を踏まえた支援を行っていると考えられる。今後は，本研究の結果をもとにさらなる調査を行い，その全体像を明らかにしていきたい。

引用文献・注

- 1) Ho, Adrian K. "Library services for creating and publishing student research journals". *Library Publishing Toolkit*. Brown, Allison P., ed. IDS Project Press, 2013, p. 235-250.
- 2) 中井俊樹. 学士課程の学生に研究体験は必要か: 国際的動向と論点整理. *名古屋高等教育研究*. 2011, no. 11, p. 171-190.
- 3) 新見慎子. 学士課程学生による研究の促進における大学図書館の役割: カリフォルニア大学バークレー校の事例調査. *Library and Information Science*. 2014, no. 71, p. 51-74.
- 4) Murray, Joseph L. *Undergraduate Research for Student Engagement and Learning*. Routledge, 2018, 233p.
- 5) Council on Undergraduate Research. <https://www.cur.org/>, (accessed 2019-10-20).
- 6) Hart, Alexis D., ed. *How to Start an Undergraduate Research Journal*. Council on Undergraduate Research, 2012, 124p.
- 7) 以前はCURのウェブサイトにおいて学士課程学生の研究論文誌のリストが一般公開されていたが、2018年の新サイト移行後に会員向けページへの掲載に変更された。
- 8) Jenkins, Alan. "The role of research in university teaching, the potential of undergraduate research for student learning, and the important of students publishing their research". *How to Start an Undergraduate Research Journal*. Hart, Alexis D., ed. Council on Undergraduate Research, 2012, p. 1-9.
- 9) Hahn, Karla L. *Research Library Publishing Services: New Options for University Publishing*. Association of Research Libraries, 2008, 40p.
- 10) Taylor, Laurie N.; Keith, Brian W.; Dinsmore, Chelsea.; Morris-Babb, Meredith. *Libraries, Presses, and Publishing*. Association of Research Libraries, 2017, 172p.
- 11) 中井俊樹. "14章 授業に研究を取り入れる". *アクティブラーニング*. 中井俊樹編著. 玉川大学出版部, 2015, p. 142-150.
- 12) Kanel, Shauna. *Undergraduate student research journals: Opportunities to publish and learn*. *Science Editor*. 2008, vol. 31, no. 3, p. 78-80.
- 13) Reno, Ariel. *Electronic undergraduate research journals: A survey of their characteristics*. *The Eagle Feather: A Publication for Undergraduate Scholars*. 2009, vol. 6, doi:10.12794/tef.2009.162.
- 14) Tatalovic, Mico. *Student science publishing: an exploratory study of undergraduate science research journals and popular science magazines in the US and Europe*. *Journal of Science Communication*. 2008, vol.7, no.3, doi.org/10.22323/2.07030203
- 15) Mariani, Mack; Buckley, Fiona; Reidy, Theresa; Witmer, Richard. *Promoting student learning and scholarship through undergraduate research journals*. *PS: Political Science & Politics*. 2013, vol. 46, no. 4, p. 830-835.
- 16) "Library Publishing Directory 2019". *Library Publishing Coalition*. <https://librarypublishing.org/directory-year/directory-2019/>, (accessed 2019-10-20).
- 17) 新見慎子. 大学図書館が実施する「学士課程学生による研究」に対する支援の実態と特徴: 北米の研究大学図書館を対象とする質問紙調査とインタビュー調査から. *Library and Information Science*. 2017, no. 78, p. 111-135.
- 18) Ho, Adrian K. *Creating and hosting student-run research journals: A case study*. *Partnership: The Canadian Journal of Library and Information Practice and Research*. 2011, vol. 6, no. 2, doi:10.21083/partnership.v6i2.1516.
- 19) Johnson, Melissa E.; Mears, Kim; Drescher, Abigail. *Creating the Arsenal: Augusta university's undergraduate research journal*. *The Serials Librarian*. 2017, vol. 72, no. 1-4, p. 128-133.
- 20) Yanofsky, Deena; Miller, Michael David; Nizami, Urooj. "Framing information literacy as scholarly practice with undergraduate student journals: A grassroots approach". *Undergraduate Research and the Academic Librarian: Case Studies and Best Practices*. Hensley, Merinda Kaye; Davis-Kahl, Stephanie, eds. Association of College and Research Libraries, 2017, p. 41-51.
- 21) Gamble, Alyson; Kallaher, Amelia; Lacey, Neal; Maass, Alexandra; Ralph, Caitlyn; Ryba, Tyrone; Tanaka, Mai. "Harnessing the winds: Collaboration and the Aeolus undergraduate research journal". *Undergraduate Research and the Academic Librarian: Case Studies and Best Practices*. Hensley, Merinda Kaye; Davis-Kahl, Stephanie, eds. Association of College and Research Libraries, 2017, p. 147-156.
- 22) Buchansky, Heather; Slaght, Graeme. "Connecting students to the research lifecycle and to each other: planning an event to support undergraduate journal publishing". *Undergraduate Research and the Academic Librarian: Case Studies and Best Practices*. Hensley, Merinda Kaye; Davis-Kahl, Stephanie, eds. Association of College and Research Libraries, 2017, p. 229-241.
- 23) Farney, Tabatha A.; Byerley, Suzanne L. *Publishing a student research journal: A case study*. *Portal: Libraries and the Academy*. 2010, vol. 10, no. 3, p. 323-335.
- 24) Weiner, Sharon A.; Watkinson, Charles. *What do students learn from participation in an undergraduate research journal? Results of an assessment*. *Journal of Librarianship and Scholarly Communication*. 2014, vol. 2, no.2, eP1125.